

令和2年度 インフルエンザの有病者数、医療費の調査及び 予防接種と罹患の関連調査に関する報告

東京屋外広告ディスプレイ健康保険組合

■ インフルエンザの有病者数、医療費について

令和2年10月～令和3年3月診療分での動向調査をしました。(図1.を参照)
今季のインフルエンザに罹患のピークは、令和3年1月となっているのがわかります。

令和1年度、令和2年度での各々の10月～翌年3月までのインフルエンザの有病者数及び医療費は下記ようになります。

	令和1年度	令和2年度
有病者数	11,928 人	696 人
医療費	97,765,756 円	4,310,990 円

前年度と比較すると、令和2年度は有病者数(11,232人減少)、医療費(93,454,766円減少)となっています。

緊急事態宣言による外出自粛やテレワークの導入により、人と接する機会が大幅に減少したこと、マスクの着用・手洗い・うがいの効果により、医療費・有病者数が昨年度比90%以上の大幅な減少となりました。

■ 予防接種と罹患との関連調査報告

インフルエンザ罹患のピークであった令和3年1月診療分と前年度のピークであった令和1年12月診療分とで、予防接種と罹患の関係を調査しました。(図5.を参照)

☆ 予防接種の有無による罹患患者数及び罹患率を調査

予防接種を受けたグループと受けなかったグループとで、インフルエンザの罹患率を本人家族合計で算出すると、下記ようになります。

	令和1年度		令和2年度	
	令和1年12月診療		令和3年1月診療	
予防接種を受けたグループ	予防接種を受けた人数	18,385 人	19,724 人	
	罹患患者数	1,025 人	45 人	
	罹患率	5.58 %	0.23 %	
予防接種を受けてないグループ	予防接種を受けてない人数	63,098 人	60,511 人	
	罹患患者数	2,786 人	134 人	
	罹患率	4.42 %	0.22 %	

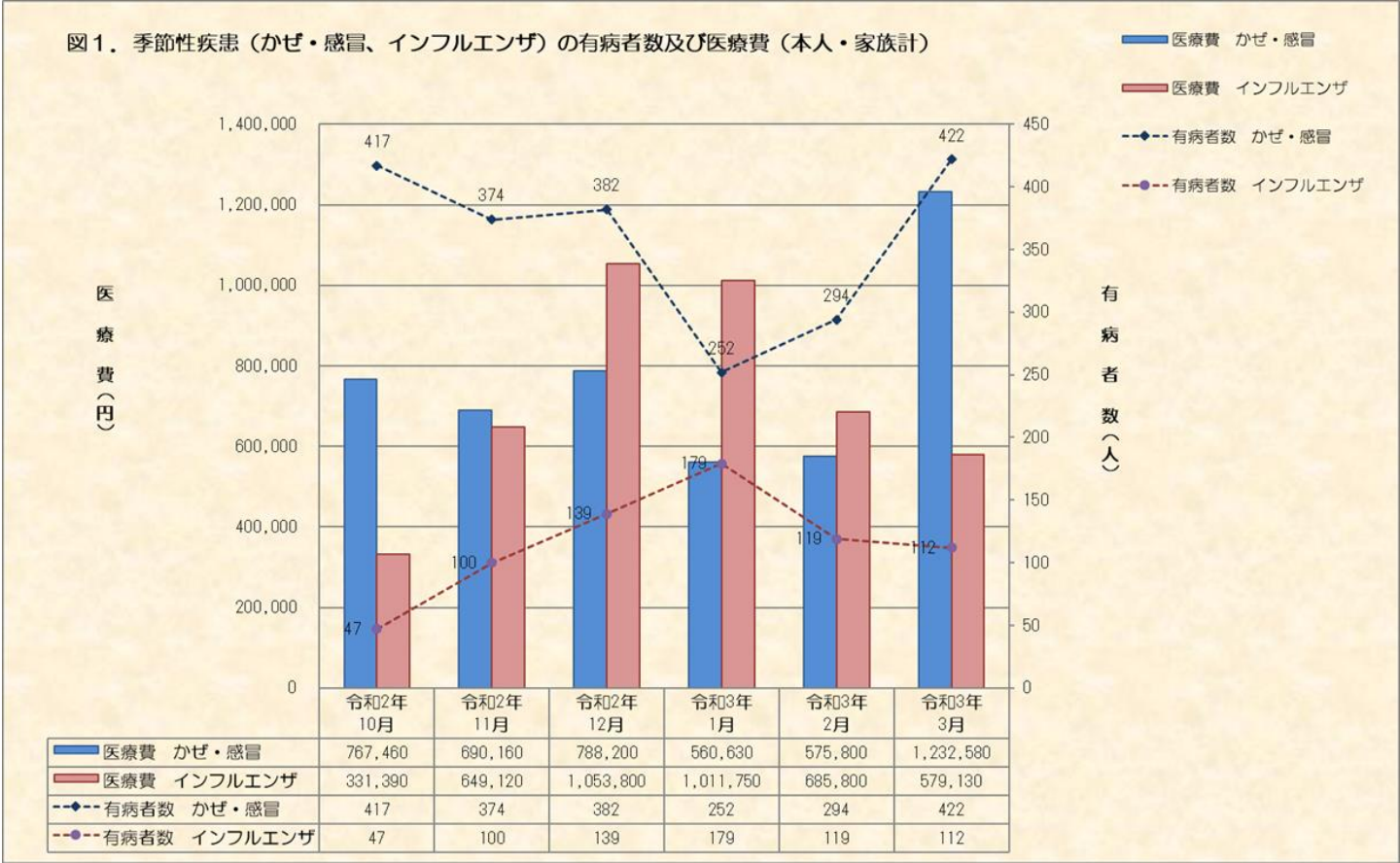
☆ 年齢階層別の予防接種の有無による罹患患者数及び罹患率を調査

25～29歳の年齢層で予防接種を受けたグループの方が罹患率が低いというような結果となっていますが、母数も少ないので全体的にはっきりしたことは言えません。

■ 今回の調査でわかった事

今季のインフルエンザ罹患患者数のピークは、令和3年1月でした。
また、1番の驚きは昨年に比べて、有病者数が90%以上の大幅な減少をしたということです。
これは緊急事態宣言による外出自粛やテレワークの導入により、人と接する機会が大幅に減少したこと、マスクの着用・手洗い・うがいの効果が感染対策には有効であることがわかります。
今回の調査で、予防接種を受けたからと言って安心せずに感染予防を行い、健康に留意することが大切といえます。

季節性疾患（かぜ・感冒、インフルエンザ）の有病者数及び医療費（本人・家族計）
今季のインフルエンザの罹患のピークは、令和3年1月となっているのがわかります。



予防接種の有無による年齢階層別のインフルエンザ罹患患者数及び罹患率
25～29歳の年齢層で予防接種を受けたグループの方が罹患率が低いというような結果となっていますが、母数も少ないので全体的にはっきりしたことは言えません。

